

令和 2（2020）年度事業計画書

<基本方針>

我が国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加などにより、緩やかな回復が続いてきたものの、米中貿易摩擦や中国経済減速の影響により、製造業を中心に海外需要が減少するとともに、消費税率引き上げに伴う消費者マインド悪化により、個人消費の伸びも鈍化している。

北陸経済においては、製造業での設備投資が堅調に推移していることや、北陸新幹線による交流人口が高水準を維持していることなどを背景に、景気は拡大基調にあるものの、その速度は緩やかであり、今後の景気動向に注視していく必要がある。一方、有効求人倍率は高水準で推移しており、デジタル化や AI 等を活用した企業の省力化投資が進展することも想定される。

こうした経済状況の中、当財団は、北陸地域の産業活性化および活力ある地域経済の実現に寄与するため、国等の委託・補助事業をはじめとした各種事業を展開してきた。一方、会費収入の大幅減少に対応するため、既存事業の縮小を継続するとともに、人員の削減や執務スペース見直し等による経費削減に取り組んできた。

2020 年度においては、引き続き IoT、AI、デジタル化、ビッグデータ等の新技術を活用した地域の Society5.0 実現をめざした活動を展開していくとともに、北陸経済連合会（以下、北経連）との一体運営により、新たな事業にも取り組んでいく。

具体的には、経済産業省、文部科学省等の委託・補助事業を積極的に活用するとともに、2018 年 12 月に承認を受けた「北陸地域における工作機械を中心とした産業高度化連携支援計画」を遂行していく。

また、北経連の産業振興、産学金官連携、人材育成等に関わる支援事業に共同で取り組むことにより、IoT、AI、高機能新素材、ライフサイエンス等に関わる事業経験やネットワークを有効活用するとともに、北経連との事業の重複を解消することにより一層の効率化を図る。

各事業活動にあたり、財団職員は、一人ひとりがチャレンジ精神と継続的な改善意欲をもって担当業務を遂行するとともに、コンプライアンス遵守のもと、財団内のコミュニケーション充実と情報共有による意思疎通を図り、組織としての総合力を発揮していく。

○＜事業内容＞

1. プロジェクト実施に必要なコンサルティングおよび支援活動

(1) 技術アドバイス、コーディネート活動

産学金官と連携し、IoT、AI、高機能新素材、ライフサイエンスなど北陸の優れた最先端技術でイノベーションを生み出し、新たなビジネスチャンスを生み出す事業について支援する。また、コーディネータによるアドバイスや企業・大学間等の技術シーズのマッチングを他機関と連携して展開する。

(2) 北陸ライフサイエンスクラスター形成事業

2017年度末で事業の計画期間が完了した「健やかな少子高齢化社会の構築をリードする北陸ライフサイエンスクラスター事業」は、引き続き三県等と協力し、この成果をフォローしつつ事業化を支援する。

(3) 連携支援計画

2018年12月に承認を受けた「北陸地域における工作機械を中心とした産業高度化連携支援計画」を遂行する。具体的には、北陸三県の支援機関を中心としたネットワークを活用し、セミナー、三県のIoT・AI相談窓口の情報交換、マッチング等により、企業のIoT、AI導入を支援する。事業の実施にあたっては、東京大学地域未来社会連携研究機構との連携協定も有効に活用する。

(4) 国等の事業への支援（共催、後援、協賛）

国、地方自治体、独立行政法人、大学、経済団体、地域団体等が主催または実行委員会を組織して実施する事業で、北陸地域の経済・産業の活性化に寄与する事業について、共催、後援、協賛等の支援を実施する。

2. 国等の委託・補助事業

(1) 経済産業省 令和2年度「地域企業イノベーション支援事業」

地域経済の担い手となる企業群を支援し、イノベーションによる新事業展開を促すことを目的とした「地域企業イノベーション支援事業」に応募し、「モデルベースシミュレーション技術の向上による競争力強化」について採択を受けた。

本事業では、工作機械におけるモデルベースシミュレーションの技術向上を目標に、工作機械の基本動作機構を用いた実践の場（ワークショップ）を提供・運営し、シミュレーションと実機の挙動合わせに必要なノウハウを獲得する。本事業により、開発設計における試作回数の削減、設計リードタイムの短縮、設計検証の高効率化、生産性見える化を含む包括的な生産システムの構築等、工作機

械製造のイノベーションを実現する。

なお、本事業の実施体制として、前記の「北陸地域における工作機械を中心とした産業高度化連携支援計画」における支援機関ネットワークを活用する。

(2) その他

ヘルスケア関連事業について、北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会における支援機関および研究機関ネットワークを活用し、経済産業省 令和2年度「ヘルスケアサービス社会実装事業」他への応募・採択を目指す。

3. 北陸経済連合会との一体運営

これまでのIoT、AI、高機能新素材、ライフサイエンス等に関わる事業経験やネットワークを活用し、以下の北経連の事業に共同で取り組む。

(1) 域内産業集積を活かしたものづくり拠点形成支援

ライフサイエンス、高機能新素材 他 先端ものづくり産業の振興支援

(2) 新規事業創出、産業高度化、付加価値向上のための産学官連携支援

① 技術アドバイス・コーディネート活動

② 北陸地域ものづくり展示会への支援

③ 北陸産学技術交流会

(3) 新技術等の活用による産業振興支援

① 講演会、セミナー等による事例紹介、啓発

② 大学・企業の視察会、最新技術の紹介

③ ベンチャー振興支援

(4) 企業の人材育成支援

講演会、セミナー等による事例紹介、啓発

4. 普及啓発活動

(1) 技術シーズ（研究成果）の発表会等の開催

産学官連携による研究開発を推進する一環として、独立行政法人等の技術シーズ（研究成果）について発表会等を開催し、北陸地域企業とのマッチングや当財団の活動について、理解を深めてもらう。

(2) 講演会・セミナー等の開催

北陸地域の産業活性化のための課題や当財団の取組みについて理解を深めてもらうため、講演会・セミナー等を開催する。

(3) 会報誌の発行

当財団の地域産業の活性化に資する取り組みなどを賛助会員や関係先に広くアピールするため、会報誌を発行する。会報誌の制作にあたってはホームページと協調するなど、効率的に実施する。

(4) 情報提供事業

パンフレットの作成・配布やホームページ等により、事業活動等各種情報のタイムリーな提供に努める。また、経済産業省、文部科学省、北経連、北陸 AJEC と情報交換を密にしていく。

以 上